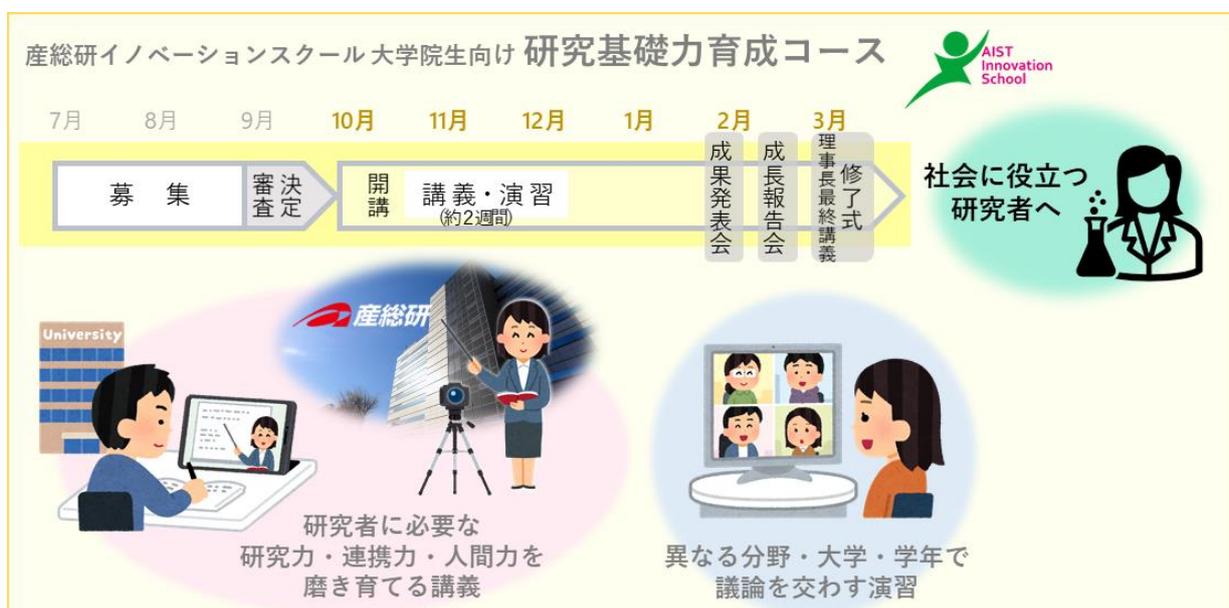


2024年度 産総研イノベーションスクール 研究基礎力育成コース 受講生（博士・修士課程大学院生）の募集

産総研イノベーションスクールは、専門分野についての深い知見を有しつつ、より広い視野を持ち、豊かな創造性や協調性を有する若手研究者の育成を目的としています。毎年度10月に開講する「研究基礎力育成コース」は、大学院生を対象とした半年間（10月～3月）の人材育成コースです。

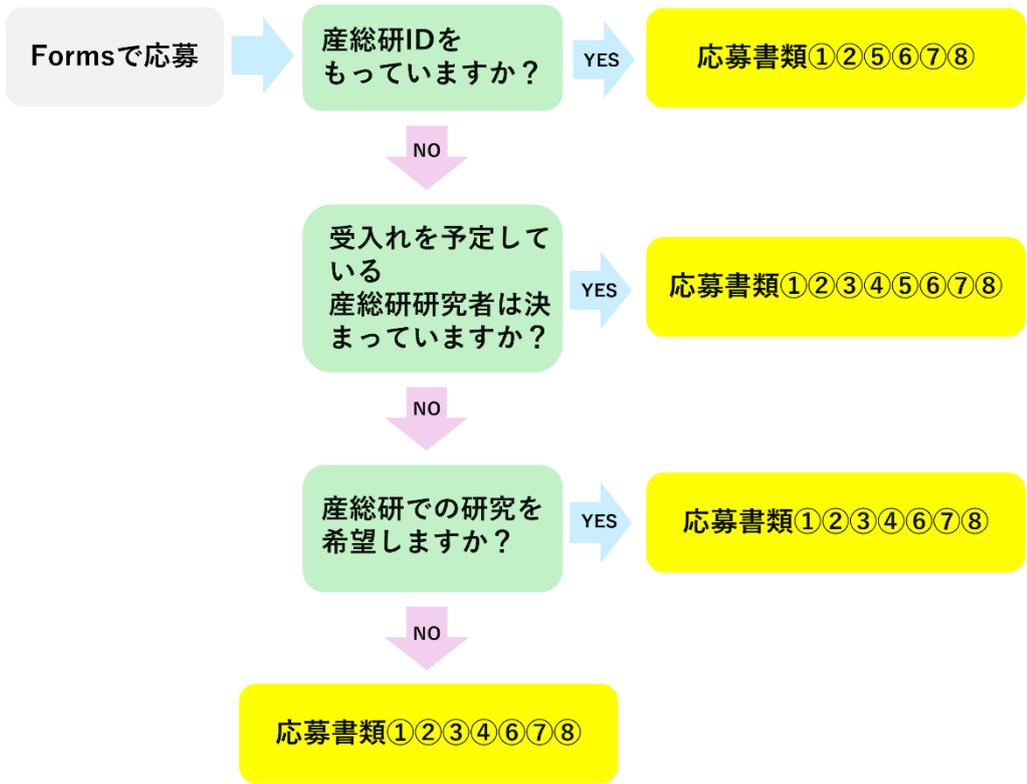
将来、研究者として自立するためのスキルを磨くことを目的として、独自の講義・演習を行います。プレゼンテーション及びコミュニケーション技術、論文・申請書作成方法、キャリアデザイン等に関する講義・演習を通じて、**専門分野の枠を越えて産学官で活躍する創造性豊かな研究者としての基礎力**を身に付けます。産総研内外の講師による講義、専門分野の異なるスクール生同士による演習、先輩との交流会等を通し、**自己の再発見、キャリアプランの構築、人的ネットワーク作り**をサポートします。**今年度も講義・演習をオンラインで開催**します。

大学院生の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。



2024年度 イノベーションスクール 研究基礎力育成コース 募集要項

<p>カリキュラム</p>	<p>【日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月21日(月)～25日(金)：開講式、第1回講義・演習 ・ 11月18日(月)～22日(金)：第2回講義・演習 ・ 2025年1月下旬：外部研究成果発表会（SATテクノロジー・ショーケース）¹ ・ 2025年3月上旬：成長報告会、修了式 ・ 技術研修手続き完了後～2025年3月：産総研受入責任者との研究実施² <p>【開催形式】 オンライン（Microsoft Teams または Zoom）</p> <p>【講義・演習内容】 別紙参照</p> <p>¹外部研究成果発表会の開催形式は主催者によります（旅費等は規定に基づき事務局が負担します）。 ²産総研受入責任者と実施する研究費30万円を事務局が負担します。</p>
<p>応募条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博士または修士課程の大学院生、学部4年生（大学院進学予定の方） ・ 原則として全ての講義・演習及び行事に参加できること ・ オンライン講義に対応可能な通信環境を自身で整えることができること ・ 日本語で実施される講義・演習に対応可能な方
<p>提出書類</p>	<p>Forms 入力後メール送信される以下の書類を利用すること</p> <p>[Microsoft Word ファイルで提出]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 履歴書 ② 自己アピール票 ③ 居住性等に関する確認書 ④ 技術研修申請書³ <p>[自筆署名しスキャンデータを提出]</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 産総研受入責任者の承諾書⁴ ⑥ 所属大学の指導教員の承諾書⁵ ⑦ 誓約書 ⑧ 肖像、個人情報及び著作物使用同意書 <p>³ 受講生となる際に必要な、産総研技術研修生の身分を取得するための申請書です。すでに産総研技術研修員（リサーチアシスタント、連携大学院生等）として産総研IDを保有している方は、本技術研修申請書の提出は不要ですが、履歴書の職歴欄に産総研IDを記載してください。</p> <p>⁴ 産総研研究者が受入責任者になりますので、応募前に受入研究者に直接コンタクトをして受入承諾書を準備してください。産総研研究者の検索にはこちらのサイトもご利用ください。 https://technobridge.aist.go.jp/。産総研受入責任者が決まっていない場合は事務局が産総研研究者とのマッチング支援、もしくは受入責任者となることも可能ですので、ご相談ください。マッチング希望の方は8月5日（月）までにご連絡ください。マッチングは必ずしも成立しない場合がありますので、ご了承ください。</p> <p>⁵ 所属大学の指導教員に記載をお願いし準備してください。</p> <p>* 応募時に提出ができない書類がある場合には事務局にご相談ください。 * 応募に際して頂いた個人情報については、選考及びイノベーションスクールの運営等に必要な範囲内でのみ利用し、応募者の同意なく他の目的での利用は行いません。 * 提出して頂いた応募書類は返却しません。</p>

	 <pre> graph TD A[Formsで応募] --> B{産総研ID をお持ちですか?} B -- YES --> C[応募書類①②⑤⑥⑦⑧] B -- NO --> D{受入れを予定して いる 産総研研究者は決 まっていますか?} D -- YES --> E[応募書類①②③④⑤⑥⑦⑧] D -- NO --> F{産総研での研究を 希望しますか?} F -- YES --> G[応募書類①②③④⑥⑦⑧] F -- NO --> H[応募書類①②③④⑥⑦⑧] </pre>
<p>応募方法</p>	<p>応募サイトより応募すること。 応募サイト：https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html</p> <p style="text-align: center;"> 応募サイト  </p> <p>* 応募サイトの専用フォームに入力後、事務局よりメールで応募書類の提出方法について連絡します。 3営業日以内にメールが届かない場合は事務局にお問い合わせください（8/12～8/16 は返信が遅れる 可能性があります）。</p>
<p>応募 締め切り</p>	<p>応募：6月3日（月）～9月2日（月）14:00 締切 書類提出：6月3日（月）～9月9日（月）14:00 締切</p>
<p>選考方法</p>	<p>書類審査（必要に応じて面接を実施する場合有り）</p>
<p>結果通知</p>	<p>9月中旬以降メールにて順次通知（可否に関する個別の問い合わせには回答不可）</p>
<p>参加費</p>	<p>無料</p>
<p>問合せ先</p>	<p>〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第1事業所 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 つくば本部・情報技術共同研究棟 9階 イノベーションスクール事務局（募集担当） メール：school-saiyou-ml@aist.go.jp</p> <p style="text-align: center;"> ホームページ  </p>

**[別紙] イノベーションスクール 研究基礎力育成コース 講義・演習内容
(2023年度のカリキュラムの例)**

講義・演習

人間力を磨く	
マナーコミュニケーション研修	ビジネスを円滑に進める上で必要である各種作法を、実践形式で学ぶ。
プレゼン塾	異分野コミュニケーションに必要なプレゼンテーション方法について学び、自身の発表について講評を受ける。
コーチングとその活用法	持続的な学びとその定着化のためのコーチングのスキル、及び、異分野間での連携力を高めるためのスキルを身に着ける。
キャリア開発演習	自己診断テストから自身の性格やキャリア形成に必要な事柄を客観的に把握し、今後の職業選択のための指針を得る。
研究者倫理	研究者が守るべき規範や研究不正行為の事例等について学び、研究者が一般社会の中で置かれた立場と役割を理解する。
連携力を学ぶ	
社会で求められる力	企業などでの実践例を紹介しながら、社会の中で活動していく上で求められる力を理解していく。
企業・業界を知るために	国内企業・業界の構造や特徴を理解し、就職先調査のための重要なポイントを学び、今後の職業選択のための指針を得る。
大学院生のキャリアデザイン	民間企業が大学院生に求める資質について理解し、今後の就業先選択の際の指針とする。
研究プロジェクト立案ワークショップ	多様な人々と対話・協働しながらプロジェクト化していく方法をグループワーク形式で体感的に学ぶ。
スクール生交流会	分野・大学・年次の異なるスクール生同士で、テーマを決めて交流し、今後の研究生活に役立つ繋がりを形成する。
研究力を育む	
考える力の鍛え方	大学院生や研究者に必要とされる考える力・創造力について、それらは何なのか、どのように鍛えられるのかを学ぶ
研究論文とは何か	研究論文はどうあるべきか・どう書くべきかについて、産総研を代表する研究者より、経験を踏まえて紹介する。
トップジャーナルに投稿する際の論文作成法	学術雑誌の査読から掲載までの手続きを学ぶ。また、学術雑誌に論文を投稿する際の傾向と対策を、演習を交えて学ぶ。
研究費を獲得するという事	学振特別研究員への応募を例にとり、競争的研究費の申請の仕方、申請書の書き方を学ぶ。
産総研の研究紹介	産総研を代表する研究者より、大学院生に向けて研究の取り組みや成果等について紹介する。(数件)

行事 開講式、ポスドク生・修了生との交流会、外部研究成果発表会 (SAT テクノロジー・ショーケース)、成長報告会、修了式 (及び理事長最終講義)

① 履歴書

ふりがな			性別		写真貼付け ・3カ月以内に撮影したもの ・正面、無帽、無背景であること
氏名					
生年月日	(西暦) 年 月 日生(満才)2024年10月1日時点	国籍			
現住所	(現住所) 〒 (電話) (携帯電話)				
	(連絡先) 〒 (電話)				
Email	(PCのみ)				
学歴 (学科・専攻 まで記入) 行不足の場合 備考または別紙 (様式自由)	(高校)		(西暦) 年 月 入学 (西暦) 年 月 卒業		
	(大学)		(西暦) 年 月 入学 (西暦) 年 月 卒, 卒見, 中退		
	(大学・大学院等)		(西暦) 年 月 入学 (西暦) 年 月 卒・修, 卒・修見, 中退		
	(大学・大学院等)		(西暦) 年 月 入学 (西暦) 年 月 卒・修, 卒・修見, 中退		
職歴 その他 行不足の場合 備考または別紙 (様式自由)	期 間	勤務先・所属・職名			
	(西暦) 年 月～ 年 月				
	※産総研での勤務歴がある場合はすべて記入のこと。例:産総研〇〇研究センター第二号契約職員(テクニカルスタッフ)、産総研〇〇研究センター第七号契約職員(リサーチアシスタント; RA)。また産総研IDを併せて記載すること。				
これまでに 取り組んだ 研究テーマ					
主な専門 分野	(キーワード5つ程度)				
資格免許	(日本語能力資格等を含む)	賞罰			
趣味娯楽		健康状況			
配偶者	有・無(扶養義務有・無) ※記載は任意です	扶養親族 (配偶者除く)	子 人 / その他 人 ※記載は任意です		
備考					

Word形式のまま送付のこと。枠の高さを適宜調整し、1ページに収めること。

② 自己アピール票

フリガナ:

氏名:

年齢: 歳 (2024年10月1日時点)

所属ユニット(現在産総研技術研修員の方のみ):

抱負・将来ビジョン

⑤産総研受入責任者の承諾書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

所属ユニット:

氏名の記名(楷書)及び署名:

下記応募者が、国立研究開発法人産業技術総合研究所イノベーションスクールが実施する2024年度研究基礎力育成コースに応募すること、及び、同コースの講義・演習や各種行事(開講式、修了式、外部成果発表会、成長報告会)に参加することを承諾いたします。

記

応募者氏名:

以上

⑥所属機関の指導教員の承諾書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

所属機関：
所属機関郵便番号・住所：
役職名：
氏名の記名(楷書)：

ご署名：_____

*連絡先(直通電話番号)：

*メールアドレス(正確にご記入下さい)：

*スクール講義・行事中の有事の際や修了後のフォローアップ等で連絡させていただく場合がございます。

下記応募者が、国立研究開発法人産業技術総合研究所イノベーションスクールが実施する2024年度研究基礎力育成コースに応募すること、及び、同コースの講義・演習や各種行事(開講式、修了式、外部成果発表会、成長報告会)に参加することを承諾いたします。

記

応募者氏名：

以上

⑦誓約書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

私は、国立研究開発法人産業技術総合研究所イノベーションスクールが開講する2024年度研究基礎力育成コースに応募するに当たり、下記のことを誓約致します。

1. 健康上など特段の事由のない限り、講義・演習及びイノベーションスクールが指定する行事(開講式、修了式、成長報告会)に参加いたします。
2. その他、イノベーションスクールの指示・指導又は決定に従います。

所属機関:

氏名(署名):

⑧肖像、個人情報及び著作物使用同意書

産総研イノベーションスクール（以下「スクール」といいます。）では、研修・行事、連絡、実績報告等スクールの運営を適切に行うため、選考・手続過程で取得した皆さまの個人情報（氏名・ふりがな・所属等）を、スクール事務局及び産総研関係部署が使用するだけでなく、外部講師、他のスクール生・その指導担当者等に示すことが必要となります。

また、スクールの行う研修・行事の様子を広く一般の方々にお知らせし、スクールへの理解を深めていただくために、公式ホームページ・SNS、パンフレット、チラシ、メールニュースといった媒体により広報活動を行っており、皆さまの肖像（個人を特定できる写真・動画）、個人情報（氏名・ふりがな・所属）及び著作物（スクールの広報活動への使用を目的とした原稿等）をこれらの媒体に載せていくことがあります。

つきましては、使用目的、方法及び範囲^(注1)をご理解のうえ、「肖像、個人情報及び著作物使用同意書」をご提出いただきたく何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

肖像、個人情報及び著作物使用同意書			
産総研イノベーション人材部長 殿			
私の肖像、個人情報及び著作物の使用に係る同意に関しては、以下の通りです。			
	同意する	同意しない	下記項目について、左の「同意」欄のいずれかにチェックをお願いいたします
運 営 目 的	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	選考・手続過程で取得した個人情報 運営のためにスクール事務局及び産総研関係部署が使用するほか、研修・行事に関連して、氏名・ふりがな・所属、産総研個人 ID、専門分野、メールアドレス・写真を他のスクール生・その指導担当者、外部講師・その所属機関その他の者に示すこと
広 報 目 的	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	肖像 ^(注2) 写真、動画（個人を特定できるもの）
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	氏名・ふりがな
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	所属 所属ユニット及び大学・研究科・専攻・課程の名称 スクールの在籍期・在籍年度
著 作 物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	著作物 ^(注3) 広報目的でスクールに提出・提供する原稿等
本同意書提出後に、掲載、使用・提供について削除や留保したいとご希望がある場合は、スクール事務局までご連絡ください。但し、印刷物（紙媒体）となっているときには、直ちに応じられないことがありますのでご了承ください。			
〔連絡先〕 産総研イノベーションスクール事務局 E-mail: school-jimukyoku-m1@aist.go.jp			
(注1) スクール事務局が、スクールの運営及び広報目的で、スクール事務局の認める媒体により地域や期間の制限なく無償で、肖像・個人情報・著作物を使用・第三者に提供することの同意となります。目的外で使用・提供する場合には、別途、同意をいただくものとします。			
(注2) スクールの研修・行事中にスクール事務局又はスクール事務局の認める者が撮影した写真・動画を使用・編集することの同意となります。			
(注3) 全ての著作権（著作権法第 21 条から第 28 条までの権利）をスクール事務局に移転することの同意となります。著作者人格権（著作権法第 18 条から第 20 条までの権利）は不行使とさせていただきます。			
氏名（署名）： _____ 日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日			
所属： _____			